

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立1967年12月26日

- 会長 上田 正義
- 幹事 小川 芳男
- 会報委員長 杉原 巨峰

大東ロータリー会長テーマ

「今を生きる、そして未来につなげる」

2013年~2014年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーを實踐し
みんなに豊かな人生を

国際ロータリー会長
ロン・D・バートン

平成25年9月17日

No.2221

H25.9.10(No.2220の例会記録)

今週の卓話 (9月17日)

「インターアクトクラブ タイ国海外研修の報告」

担当 東村 正剛 インターアクト委員長
桐蔭インターアクトクラブ

次週の予定 (10月1日)

秋の家族会「和倉温泉・富山高岡」

親睦委員会 中野 秀一 委員長

先週の例会報告

◆ 出席報告 (9月10日分)

会員数 42名 出席数 35名 欠席者 2名
特定免除 5名 その他免除 0名
出席率 94.59%

前々回8月27日分

ホームクラブの出席者 33名 97.06%
メイクアップの結果 33名
特定免除 8名 その他免除 0名
欠席者 1名 修正出席率 97.06%

ゲスト

米山奨学生 シュレスタ リエさん

カトマンズ西 RC ウダヤ 氏
尼崎東 RC 近 知史 氏

今月のテーマ

「新世代のための月間」

ロータリーソング

「日も風も星も」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

裏面に記載



皆さんこんにちは。例会出席ありがとうございます。
2020年開催されますオリンピックの開催地が東京に決定いたしました。

イスタンブール・マドリッド・東京の3都市が開催地決定の為、多くの人達が国を上げて努力されました。これまでの事が色々テレビ・新聞等で報道されました。



落選されました2都市の努力に敬意の拍手をお送りします。しかし決定経緯については、各国の思惑・駆け引き・力関係が入り乱れオリンピック開催の影響が如何に大きいかと思いました。此れからの開催までの7年間又オリンピック期間中の経済効果は、3兆とも10兆円とも言われております。アベノミックス効果にプラスオリンピック効果で、現在のデフレも解消される事を期待します。しかし運営資金・施設建設資金に税金投入されている事も忘れてはなりません。前回の東京オリンピックに比べて日本は成熟した国であり、東京は世界有数の大都市でもあります。どの様なレガシーを創造されるか楽しみでもあります。世界中の人が仲良く・楽しく・新世代に繋げる・世界の祭典大運動会です。会員の皆様もメタボの方が私を筆頭に多数見受けられますので、運動して体調管理に気をつけて2020年のオリンピックが見れるように、がんばりましょう。



本日は、「人の己を知らざるを患えず。人を知らざるを患う」についてお話します。人は誰しも自分のことを評価してもらいたい、認めてもらいたいという欲求を持っているものです。しかし、他人が自分の実力を理解してくれないとってがっかりしてはいけないということです。評価されなくともやるべきことを、淡々と実行していればよいということです。それより、「他人の実力を自分が見極められないことこそ心配しなさい」という意味です。自分が評価されることばかり望んでいては社会貢献できません。きちんと人を見る目を持っていないと、正しいことを行えなくなります。あるいは正しいことを見失ってしまうかもしれません。また、人の上に立った時、よき人材を適材適所に置き存分に力を発揮してもらえるようにしなければ、信頼される善い政治は出来ない。と孔子は諭しておられます。現在の我々にも常に通ずるものがあると思います。

自分が認めてもらいたい欲求を持っていることは、当然他人もそうなので、その気持ちを^{おもんばか}慮ることが大切です。

これで会長の時間終わります。





委員会報告

◎ニコニコ箱

- | | |
|---|--|
| | 東野 喜次 委員長 |
| ・結婚記念日 自祝 | 小林 誉典 君 |
| ・誕生日 自祝 | 樋口 秀和 君 |
| ・例会出席ありがとうございます 感謝 | 上田 正義 君 |
| ・橋本会員 FVP 特別委員会委員長快諾いただきありがとうございました
1年間よろしくお願ひ致します | 小川 芳男 君 |
| ・本日はカトマンズ西 RC ウダヤさんのお供で参りました
よろしくお願ひします | 尼崎東 RC <small>こん</small> 近 <small>ともし</small> 知史 氏 |
| ・大東さんありがとう | 岡本 日出士君 |
| ・北海道ゴルフ行って来ました | 谷中 清孝 君 |
| ・情報集会 お疲れ様でした | 高島 登 君 |
| ・情報集会 ・野球大会出席ありがとうございます | 田川 和見 君 |
| ・北海道に行って来ました | 佐藤 多加志君 |
| ・サッポロラーメン食べて来ました 感謝 | 木村 克己 君 |
| ・ニコニコファイト! | 中野 秀一 君 |
| ・杉原会員お世話になりました 情報集会田川委員長
中野委員長お世話になりました 感謝 | 東村 正剛 君 |
| ・北海道涼しかったです
参加の皆さんありがとうございました 感謝 | 中嶋 啓文 君 |
| ・情報集会 田川委員長 中野委員長
ありがとうございました 感謝 | 空門 満也 君 |
| ・情報集会 田川委員長 中野委員長
ありがとうございました 感謝 | 間 紀夫 君 |
| ・皆様のニコニコに 感謝! | 東野 喜次 君 |
| ・メイクアップ無 | 徳山 泰之 君 |
| ・情報集会おつかれさまでした
田川さん、中野さんありがとうございました 感謝 | 森岡 信晶 君 |





◎米山奨学委員会

大東 弘 委員長

米山奨学生 シュレスタ リエさん

ネパールから来られた米山奨学生、シュレスタ リエさんが例会を訪問され、近況報告をされました。以下は訪問の際に提出して頂いたレポートです。

奨学生生活で得たものとは、私にとってとても大きなものです。一番大きなことは、私は夢に一歩近づけた事です。

ロータリーの例会に参加させていただいたある日、ネパールに何か手伝いがしたいから困っている事はないかとお話を聞かれました。私は内心とても



驚きました。ロータリーでは普通にこんな話がされるのかと、そして同時にとても嬉しかったです。私は人生の生き方のノーハウを知っていて教えよう、助けようとして下さっている皆さまに出会えました。その上、私は自分の国ネパールの事を知っていただける場もいただきました。

ネパールも昔は日本みたいにとっても優しい心のもち主の国でした。ですが、貧困は人々を変えてしまいます。それを元通りにもどすのは簡単なことではありません。だから、私は何かを変えたい。実際に行動をおこしている皆様に出会えて、よりいっそう思う気持ちが強くなりました。私はとても大きいチャンスを得られたと思います。

日本はネパールととても似ている国です。それは、八百万の神々をネパールも信じている事です。一つの大きな違いは一方は発展国で他国に助け舟を送っています。もう一方は船を受け取る側です。私はこの機会を有意義なものとして、ネパールと日本の絆のパイプをもっと頑丈なものにしたいです。私一人のパイプではすぐに切れてしまいます。だからこそもっとたくさんの方々とパイプをつなぎたいです。





◎社会奉仕委員会

松原 清一 委員長

秋の全国交通安全運動が9月20日（金）予定されております。
会員皆様、多数のご参加よろしくお願い致します。

日 時： 平成25年 9月20日（金）
午前7：45～8：15 集合 7：30

場 所： JR住道デッキ



◎親睦委員会

中野 秀一 委員長

《大東ロータリークラブ 秋の家族会スケジュール》

日 程	スケジュール	宿泊先
1 10月1日 (火)	※第二京阪・京滋BP・名神・北陸道 281Km※ ※昼食※ ※拝観※ 大東市—第二京阪門真IC—<久御山・瀬田東・米原JCT>—金沢西IC—兼見御亭—妙立寺(忍者寺)— 08:00-----11:50/12:40--13:00/14:00-----	和倉温泉 加賀屋 TEL 0767-62-4111
	※体験※ ---カタニ(金箔貼り体験)—<千里浜ドライブウェイ>—和倉温泉 -----14:20/15:30-----17:00	
2 10月2日 (水)	※拝観※ ※散策※ ※昼食※ ※拝観※ ※能越道 和倉温泉---瑞龍寺(国宝)---金屋町散策---ホテルニューオータニ高岡---高岡大仏(日本三大仏)---高岡IC-<小矢部砥波 <ガイド同行> <ガイド同行> 08:30---10:00/11:00--11:15/12:15---12:30/14:00-----14:10/14:40-----	
	北陸・名神・京滋BP・第二京阪 326Km※ ・米原・瀬田東・久御山JCT>---第二京阪門真IC---大東市 -----18:30	





「 私にとって貴重な記録 」

大西 寛治 会員

昨年度の卓話では、昭和初期の大東市の今昔を保存した、貴重な映像と解説を交え、見て頂きました。

今回は、皆様方にはあまり関心がないかも知りませんが、私には又、関心のある方には非常に貴重なフィルムです。それは、わが故郷中垣内の地車の解体修理の時の映像です。時間を短縮する意味で組



み立てのみとなりますが、その反対が解体です。それと、中垣内の秋祭り地車曳行の映像を少しと、四條ふるさと祭りに集まる四條地区 9 台の地車の映像です。中垣内の地名は南都の西大寺は、奈良時代の後期に河内の更占群（さんらぐん）に渚浜（すはま）と言う荘園を持っていたが延喜式神名帳には讃良郡（さんら）に須波麻神社が有ると記載されています。この事からこの渚浜（すはま）は大東市の最古の地名であり式内社により中垣内の一地名であると考えられます。中垣内の地車は 1861 年に甲可村滝（現在の四条畷市）の大工大佐の作で、幅 2.8 m 屋根の全長 4.5 m 重さ 5 トン彫り物は清国の 24 考の彫刻を施している。価格は当時銀 7 貫



目。材質は総檜造り。昭和は 11 年に幅が転倒し屋根幅が短くなった。

地車は一般にダンジリまたはジクルマと言います。大阪、和歌山、兵庫近辺の関西独自のものです。

地車は江戸中期から末期に盛んになってきたものと考えられます。地車が神社や公的機関の管理運営するものではなく、氏子や村人を中心とする庶民の物であった大衆文化と言うものは記録され、儀式化するものでなく、口伝えされ応用変化していくものです。





ここで地車の簡単な定義を表現すると、

- 1、祭りに使用される練り物であること
- 2、木造で木製の車輪を付け、曳行できること
- 3、唐破風の屋根を持ち、屋形には人が乗れること
- 4、彫刻、金具などの装飾が施されている
- 5、曳行には、鉦、太鼓などによる囃子が演じられる

以上のことがあげられ、その地の氏神である神社の祭りに曳き出される。

一般に祭りには、神輿、太鼓台などが出る場合も多いが、それらと地車は根本的に意味が違います。太鼓台は神の到来を告げ知らせるもので、神輿は神を乗せて氏地を巡りその威光を広げ、又縁深い離れ地へ連れて行ってもらう役目が有り、神事の一つです。しかし、一方の地車は神座の様なものは設けているが神の乗り込むものではなく、神の恩恵に感謝し、又来る年の収穫繁栄を願う感謝祭の一道具なのです。よって地車が神社のものでなく氏子の物で神事とは別の事です。

今年は、10月20日に野崎参道筋に四條地区9台の地車が午後1時頃から集結します。大東には岸和田の地車より1台多く大きさも倍の地車が有ります。一度見学しに来てください。



2013～2014年度

職業奉仕委員会 情報集会のお知らせ

情報集会を下記の通り開催いたします。

ご出席の程お願い申し上げます。

日 時	2013年10月8日 (火)	18:00～
場 所	秀	
会 費	5,000円	





グローバル補助金奨学生 宮尾 真梨子さん

大東ロータリークラブ御中

ご無沙汰いたしております。日本は猛暑や豪雨など変わりやすい天候が続いていると伺っておりますが、皆様いかがおすごしでしょうか。

こちら、モントレイは一年の中で最も良いシーズンが到来しており、カリフォルニアらしい晴天の日々が続いております。学業においては、先月中旬、渡米当初から通っていたサマースクールを無事卒業することができました。慣れない英語でのプレゼンテーションやディベートには苦勞しましたが、友人の助けもあり、卒業に至ることができました。

先日よりいよいよ正規の大学院課程が始まりました。私の属する核不拡散・テロリズム学科（こちらでは **Master of Arts. Nonproliferation and Terrorism Studies** の頭文字をとって **MANPANTS** と呼ばれています…）はほとんどの学生がネイティブのアメリカ人で、新入生の中では私が唯一のアジア人です。留学生の比較的多い国際的な学校と聞いていたのでこの点は驚きでしたが、学業のみならず英語力やこちらでの生活力をアップさせる絶好の機会だと思ひ、積極的に活動に参加しようと思っております。授業の内容については、サマーコースと比べ物にならないほど集中的で毎日ついていくのに精いっぱいですが、日々新しい概念、学びた



かった内容、情報、そしてアメリカ政府内でのリアルタイムの状況など貴重な情報をたくさん得ることができとても「ワクワク」する学生生活を送れています。特に「原子カルネサンスと不拡散」というゼミ形式の授業では、日本の福島原発事故や規制問題を取り扱っており私の研究したい内容に合致した講義を受けています。同じ問題を日本人のみの観点からではなく、多くの国や地域の人からの観点で見つめることで、新しい発見が私の中で生まれることにとっても充実感を覚えています。毎日の予習、復習、課題やプレゼンテーションなど初めての海外生活はなかなかハードなものになりそうですが、感謝の気持ちを常に胸に日々邁進していきたいと思ひます。



ではまた、折に触れご報告させていただきます。最後になりましたが、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

